

環境アセスメント学会第5回大会

開催概要

開催場所：武蔵工業大学環境情報学部横浜キャンパス（横浜市港北ニュータウン内）

開催日程：2006年9月2日（土）～3日（日）

◆2006年9月2日（土）

開会式	9:30～9:45（受付9:00～）
研究発表会（1日目）	10:00～12:10
ポスターセッション	12:20～13:10
本部主催シンポジウム	13:15～17:30
テーマ：『景観法』の時代における環境アセスメント	
懇親会	18:00～20:00（受付17:30～）

◆2006年9月3日（日）

研究発表会（2日目）	9:30～12:00（受付9:00～）
------------	---------------------

参加方法

環境アセスメント学会 HP (<http://www.jsia.net/>) のトップページにございます「大会参加申込書（Word）」をダウンロードして頂き、必要事項をご記入の上、2006年度環境アセスメント学会第5回大会事務局までご送付下さい。
2006年8月31日（木）までにいただければ幸いです。当日参加も歓迎致します。大会参加費は当日大会受付にてお支払い下さい。

参加費

大会参加費：正会員・公益会員・賛助会員4千円、学生会員・協力会員3千円、会員外6千円

2006年度研究発表会要旨集代：2千円（大会参加費には含まれておりません）

懇親会費：4千円

本部主催シンポジウム「『景観法』の時代における環境アセスメント」

2004年、景観法が制定され、街づくりなどにおいて景観が重視される時代になりました。環境アセスメントにおいては、現在のところ景観は極めて限定した扱いしかされていませんが、今後、アセスメント制度においても景観を意識した取り組みが益々重要になってきます。そこで、都市や自然地域における景観の意義や景観の価値の捉え方についてお聞きするとともに、環境アセスメントの取り組みの中でいかに景観を扱っていくべきか、今後を展望します。

会場

武蔵工業大学環境情報学部横浜キャンパス3号館1階31A教室

プログラム

開会	13:15
1. 景観法のねらいと環境アセスメント制度 浅野直人（福岡大学法学部教授）	13:15～13:55
2. 都市における景観保全 西村幸夫（東京大学大学院工学系研究科教授）	13:55～14:35
3. 自然景観の評価と保全 熊谷洋一（東京農業大学地域環境科学部教授）	14:35～15:15
4. 景観の価値と合意形成 桑子敏雄（東京工業大学大学院社会理工学研究科教授）	15:15～15:55
休憩	
5. パネルディスカッション 『景観法』の時代における環境アセスメント コーディネーター：浅野直人 パネリスト：西村幸夫、熊谷洋一、桑子敏雄 *会場とのやりとりを含めてのディスカッション	16:10～17:30
閉会	17:30

参加方法

事前申込みの必要はありません。どなたでもご参加できます。

参加費

本部主催シンポジウム参加費：無料

本部主催シンポジウム資料代：会員500円、会員外千円

*本部主催シンポジウム資料は研究発表会要旨集に含まれております。

参加申し込み受付・問い合わせ先

〒224-0015 神奈川県横浜市都筑区牛久保西3-3-1 武蔵工業大学環境情報学部田中章研究室
担当:佐藤勘才 TEL:045-910-2928 FAX:045-910-2929 E-mail:jsia2006@yc.musashi-tech.ac.jp